Panasonic®

取扱説明書

DVD/CDプレーヤー

品番 **DVD-S37**

このたびは、DVD/CDプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞2～3ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVDビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。本機の番号は**「2」**です。

「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたDVDビデオの再生が可能です。

（例）

もくじ

準備

操作

ご参考

保証書別添付　上手に使って上手に節電

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

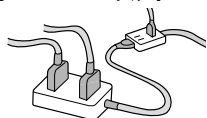
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

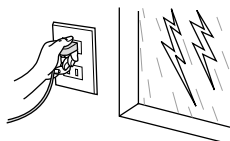
分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**
- **本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ご使用について

長時間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

乾電池について

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

付属品

買い替えは、かっこ内の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

- □ **リモコン（EUR7631030）**
- □ **電源コード（VJA0536）**
- □ **音声／映像コード（JAC3315N）**
- □ **リモコン用乾電池（単3形：2本）**

再生できるディスク

RAM などは、本書内の表示です。

DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	RAM	DVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたディスク	
		JPEG	DCF (Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータ	● 当社製DVDビデオレコーダーで記録されたもの ● RAM内のJPEGファイルを再生するには“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞15ページ）
DVD オーディオ	DVD AUDIO	DVD-A	本機では2チャンネルで再生されます	
		DVD-V	DVDオーディオの中のDVDビデオコンテンツを再生するには“その他のメニュー”で“DVD-Videoとして再生”を選んでください（☞15ページ）	
DVDビデオ	DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD-V	ー	
DVD-R	DVD R R4.7		当社製品にて録画・ファイナライズ※した当社製DVD-RをDVDビデオとして再生できます。	
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	VCD	SVCD（IEC62107規格準拠）を含む	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD	ー	
CD-R CD-RW	ー	WMA MP3 JPEG CD VCD	WMA、MP3、JPEG、CD-DA、ビデオCDのいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※した音楽用CD-R/CD-RW ● HighMAT規格に準拠して記録されたWMA・MP3・JPEGも再生できます。(HighMAT機能を使わずに再生するには.“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞15ページ）	

※録音・録画されたCD-R/CD-RW、DVD-Rを再生対応機で再生できるように処理すること。
● 使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

再生できないディスク

- PAL方式で記録されたディスク（DVDオーディオは再生できますが、静止画が正しく表示されないことがあります。）
- DVD-RAM（2.6GB/5.2GB、TYPE1）
- ファイナライズされていないDVD-R
- DVD-ROM ・DVD-RW ・DVD+R ・+RW
- CD-ROM ・CD-G ・SACD ・Photo-CD ・CDV
- Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）

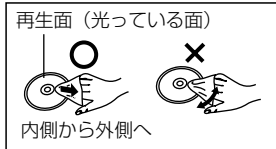
本機では右記ロゴのついたディスクを2チャンネルで再生できます。

HighMAT™、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

お手入れ

ディスクが汚れたときは

DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCD、CD

- 水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
- 推奨品：クリーニングクロス
  （品番：VUA7091）
  （サービスルート扱い）

DVD-RAM、DVD-R

- 必ず専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナー LF-K200DCJ1**（別売）、または**RFKZ0093**（サービスルート扱い）でふいてください。
  使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

ディスクに露がついたら

- 急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- DVD-RAM、DVD-Rは、専用のクリーナー（上記）でふいてください。

ディスクの取扱上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 以下のディスクを使わない
  ―シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク。
  （レンタルディスクなど）
  ―そっていたり、割れたりひびが入っているディスク。
  ―ハート形など、特殊な形のディスク。
- 次のような場所に置かない

―直射日光の当たるところ
―湿気やほこりの多いところ
―暖房器具の熱が直接当たるところ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

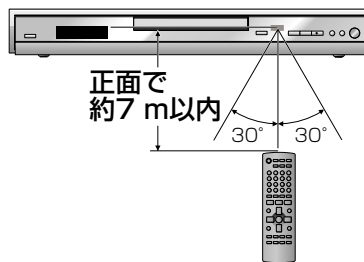
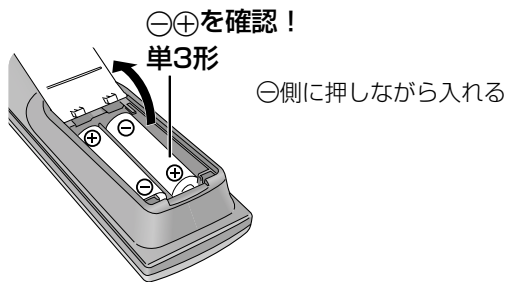
「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」はDTS社の商標です。

MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA (Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

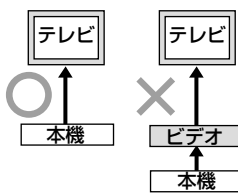
準備1 リモコン

乾電池（付属）を入れる

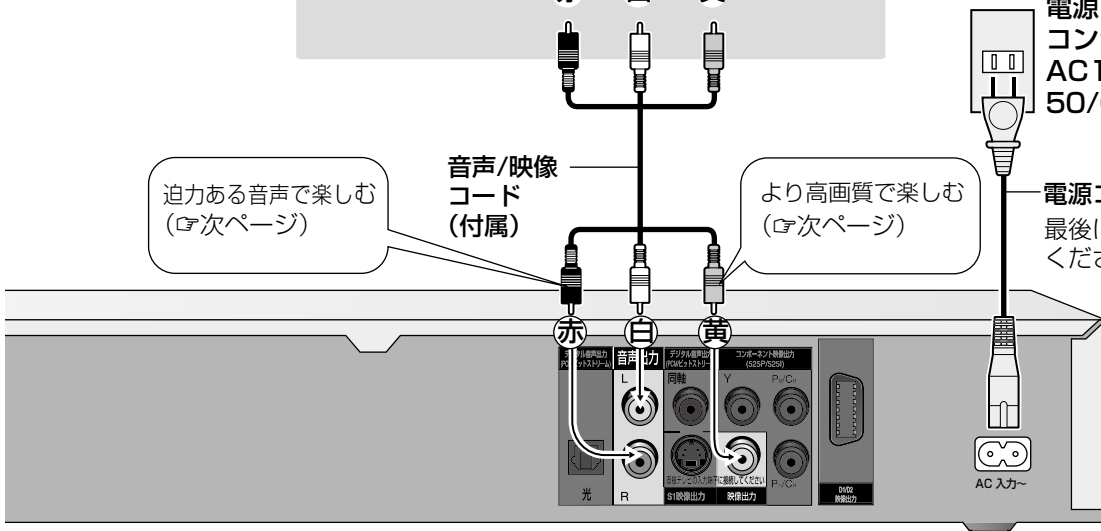
使用範囲

準備2 テレビと接続

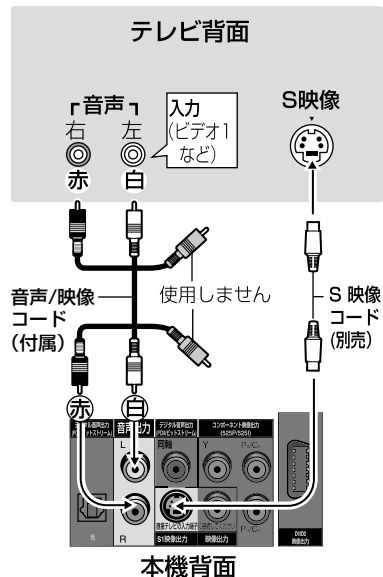
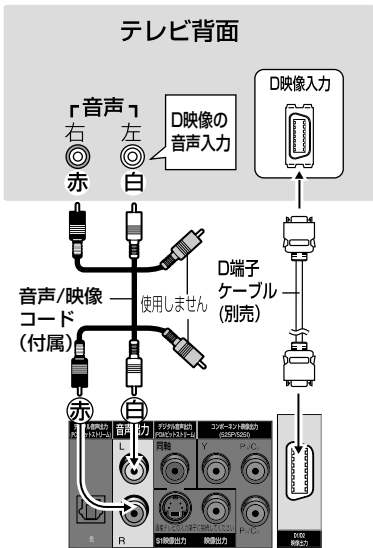
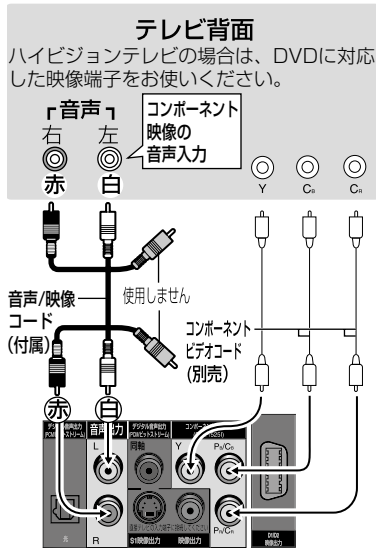
- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 各機器の説明書もご参照ください。

お願い

本機とテレビの間に、ビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。（ビデオ内蔵テレビと接続するときは、ビデオ側でなく、テレビ側の入力端子に接続してください。）

長期間使用しないときは

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、約1Wの電力を消費しています。

準備2 テレビと接続（つづき） （別売品 ☞18ページ）

より高画質で楽しむ

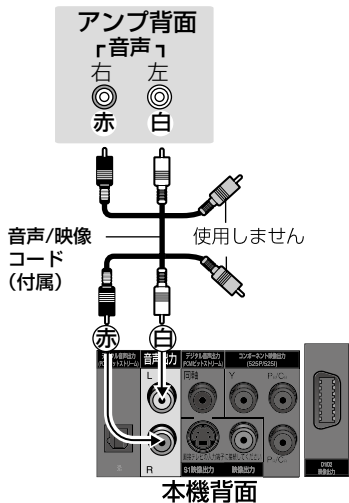
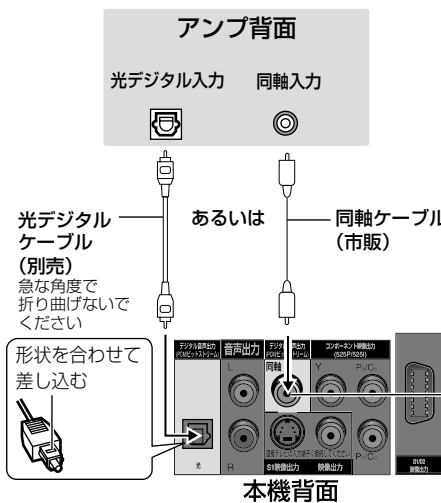
S1映像端子

D1/D2映像端子

コンポーネント映像端子

プログレッシブ（☞19ページ、用語解説）映像を楽しむには、 **プログレッシブ対応テレビと、「D1/D2映像」または「コンポーネント映像」端子を使って接続した後、** クイックセットアップ（☞下記）でプログレッシブ出力の設定を“可能”にし、画質メニューの“ビデオ出力モード”を“525P”にする。（☞14ページ）

迫力ある音声で楽しむ

2チャンネル音声を楽しむ

DVDビデオのマルチチャンネル音声を楽しむ

DOLBY DIGITAL または、dts SURROUND ロゴの付いたアンプと接続し、“PCMデジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”（☞17ページ）を設定してください。

- DVDビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- DVDオーディオの場合は2チャンネルで出力されます。

準備3 クイックセットアップ

お買い上げ後初めて［初期設定］を押すと、基本的な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。

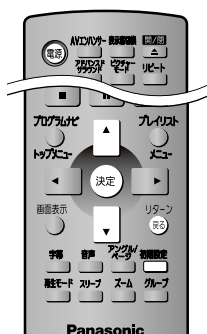
準備 テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ1」など）に切り換える。

1

電源を入れる

2

初期設定画面を表示する

3

［する］を選び画面の指示に従って設定してください

4

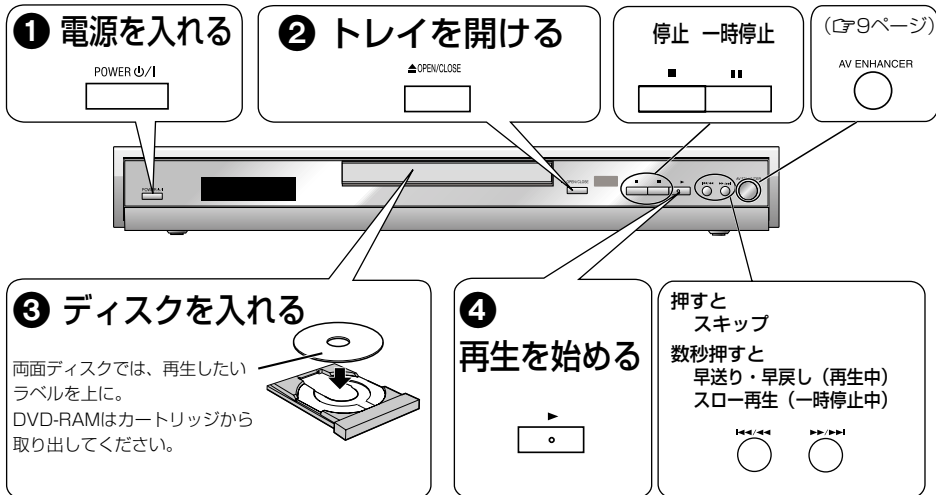
クイックセットアップを終了します

5

初期設定画面が消えます

設定しなおすには

“その他”のメニューで“クイックセットアップ”を選んでください。（☞17ページ）

再生する

操作	ボタン	説明
停止	停止 [■]	"▷" 点滅中に [▶] (再生) を押すと、停止位置から再生。 ● DVD-V メッセージ表示中に [▶] (再生) を押すと、停止位置までのあらすじを再生 (ポジションメモリー機能 ☞10ページ) ● "▷" 点滅中に [■] (停止) を押すと、停止位置の記憶は解除。
一時停止	一時停止 [❚❚]	● [▶] (再生) で通常再生に戻る。
スキップ	スキップ [⏮] [⏭]	項目を飛び越す。 ● RAM マーカーにもスキップします。 [☞14ページ、マーカー(VR)]
グループスキップ WMA MP3 JPEG	[▲] [▼]	グループを飛び越す。
早送り・早戻し (再生中) スロー再生 (一時停止中)	スロー/サーチ [◀◀] [▶▶]	● 5段階で速くなります。 ● [▶] (再生) で通常再生に戻る。 ● VCD スロー再生: [▶▶] のみ
コマ送り・コマ戻し (一時停止中)	[◀] [▶]	RAM DVD-V VCD ● VCD [▶] のみ
メニュー操作	[▲] [▼] [◀] [▶] 選択 [決定] 決定	

操作	ボタン	説明
番号入力	[1]～[9] [0] [≧10] [取消し] [決定]	RAM DVD-A DVD-V VCD CD 例) 12 : [≧10] ➜ [1] ➜ [2] VCD (プレイバックコントロール付き) : 停止中にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。 WMA MP3 JPEG 例) 123 : [1] ➜ [2] ➜ [3] ➜ [決定] ●入力しなおすときは、[取消し]を押す
メニュー画面	プログラムナビ/トップメニュー	トップメニュー: DVD-A DVD-V プログラムナビ再生: RAM (☞13ページ)
	プレイリスト/メニュー	メニュー: DVD-V プレイリスト再生: RAM (☞13ページ)
	リターン (戻る)	VCD (プレイバックコントロール付き)
前の画面に戻る	リターン (戻る)	
本体表示	表示窓切換	番号表示 ↑↓ 経過時間表示
画面情報	字幕	字幕情報 (☞11ページ) RAM (字幕の入/切のみ) DVD-V VCD (SVCDのみ) 文字情報の切り換え WMA MP3 JPEG CD (CDテキストのみ)

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは [■] を押して再生を停止してください。
- DVD再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生時にテレビの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

困ったときは、「故障かな!?」(☞20、21ページ) をご覧ください。

より高画質、高音質で楽しむ

AVエンハンサー

再生中のディスクを自動的に判別し、映像と音声（☞下記）に最適な効果を加えます。

[AVエンハンサー] を押して"入"を選ぶ

音声設定：アドバンスドサラウンド（☞下記）、
シネマボイス（☞15ページ、音声メニュー）
画質設定：ピクチャーモード（☞下記）
AVエンハンサー"入"時は設定を個別に変えることはできません。

ピクチャーモード

RAM DVD-A DVD-V VCD JPEG

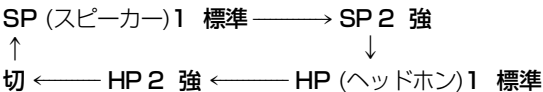
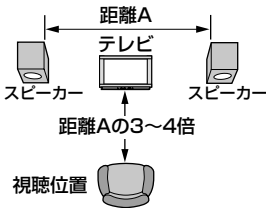
[ピクチャーモード] を押して画質を選ぶ

ノーマル：通常画質
シネマ1：映画館で見ているようなしっとり感
シネマ2：昔の映画などをくっきり
アニメ：アニメ向き
ダイナミック：コントラストを強調した、躍動感あふれる映像

アドバンスドサラウンド

RAM DVD-V VCD（2ch以上のディスク）
2本のスピーカー（またはヘッドホン）でサラウンド効果が得られます。

[アドバンスドサラウンド] を押して切り換える

SP（スピーカー）1　標準 → SP 2　強
↑　　　　　　　　　　　　↓
切 ← HP 2　強 ← HP（ヘッドホン）1　標準

効果的な視聴位置
テレビのスピーカーを使う場合
テレビの横幅=距離A

- サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。
- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- 「入」時は、スピーカーを3本以上つないでいても、2チャンネルで出力されます。

再生の種類を切り換える

オールグループ/プログラム/ランダム再生

DVD-A DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG

停止中に [再生モード] を押して切り換える

オールグループ再生（DVD-A）→ プログラム再生→ ランダム再生
↑――――――――― 通常再生 ←―――――――――┘

- HighMAT CDをプログラム／ランダム再生するときは、"その他のメニュー"で"データディスクとして再生"を選んでください。（☞15ページ）

すべてのグループを順に再生（オールグループ再生）DVD-A

[▶]（再生）を押す

好みの順に再生（プログラム再生）（最大32項目）

1 **押して項目を選ぶ（☞8ページ、番号入力）**
続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

例：DVD-V

- 次のページを見るには **[アングル／ページ]**を押す。

2 **[▶]（再生）を押す**

すべての項目を選ぶ（ディスクまたはタイトル、グループ内の全曲）
[決定]を押したあと、**[▲▼]**で"**ALL**"を選び、**[決定]**を押す

予約を変更／追加する
[▲▼]で変更したい項目を選び、手順１を行う

予約を取り消す
[▲▼]で取り消したい項目を選び、**[取消し]**を押す
（**[▲▼◀▶]** で"**クリア**"を選び、**[決定]**を押しても取り消せます。）

予約を全て取り消す
[▲▼◀▶] で"**オールクリア**"を選び、**[決定]**を押す
（電源「**切**」、トレイの開閉でも取り消されます。）

順不同に再生（ランダム再生）

1 DVD-A DVD-V WMA MP3 JPEG
押して項目を選ぶ（☞8ページ、番号入力）

例：DVD-V
ランダム再生
タイトル番号を選んで下さい。
タイトル 1
▲▼ 0 ~ 9 で選択　再生 で開始

2 **[▶]（再生）を押す**

リピート再生

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）
JPEG 全てに働きます。

[リピート]を数回押して、繰り返す項目を選ぶ

便利な機能

早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生

RAM DVD-V

映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに、再生速度を微調節できます。

再生中に［∧,∨ 再生スピード］を押す

DVD-VR
×0.9 ▶

×0.6 ↔ ×1.4（0.1ずつ）

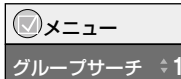
- [▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- 速度調節中は
  - – アドバンスドサラウンド（☞9ページ）は働きません。
  - – デジタル出力が、PCM 2チャンネルになります。
  - – サンプリング周波数が 96 kHz の場合、 48 kHz になります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。

グループ

グループを選んで再生

DVD-A WMA MP3 JPEG

1 停止中に[グループ]を押す

2 [▲▼]でグループ番号を選び、[決定]を押す

- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞8ページ、番号入力）。

- DVD-A すべてのグループを再生する（☞9ページ、オールグループ再生）

記憶させた位置から再生（ポジションメモリー機能）

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）
JPEG 全てに働きます。

再生中に［ポジションメモリー］を押す

位置を記憶しました

もう一度押すと上書きされます

電源「切」、「入」またはディスクを入れ直した後、
[▶]（再生）を押すと、記憶した位置から再生が始まります。
（この時点で記憶は消去されます。）

- ディスク5枚分まで記憶できます。6枚目以降は、一番古い記憶から順に消去されます。
- ディスクによっては記憶できない箇所もあります。

あらすじリプレイ DVD-V（同一タイトル内のみ）

右の画面表示中に[▶]（再生）を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

- 放置しておくと、画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

ポジションメモリー機能を解除する

"▷"点滅中に［■］（停止）を押す。

アングル/ページ

アングルの切り換え

DVD-V（アングルが複数記録されているディスク）

再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

アングル/ページ

画像の回転

JPEG

再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

- 回転は、電源「切」、トレイの開閉で取り消されます。

見のがしたシーンをすぐ再生（クイックリプレイ）

経過時間表示の出るディスクのみ（☞8ページ、本体表示）
JPEG 働きません。

再生中に［クイックリプレイ］を押す

数秒前に戻り、再生を続けます。

- ディスクまたは再生箇所によっては、戻る秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。

静止画の切り換え

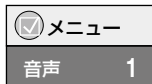
DVD-A

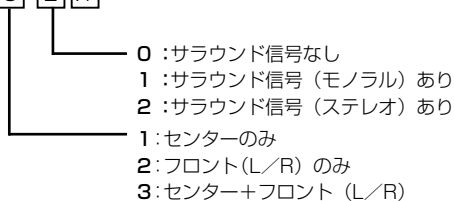
再生中に[アングル/ページ]を押して切り換える

音声

DVD-A DVD-V （音声が複数記録されているディスク） RAM VCD

[音声] を押して切り換える

- RAM VCD "L"（左）、"R"（右）、"LR"（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V カラオケディスクでは、[◀▶]でボーカルの入／切ができます。
  詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

音声属性の表示

LPCM/PPCM/DD Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数
GUI画面では以下のように示されます。

※Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。

映像を拡大する（ズーム）

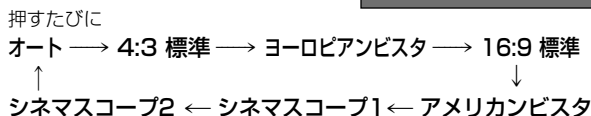
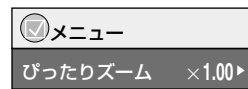
RAM DVD-V VCD

いろいろな横縦比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

[ズーム] を押して切り換える

メニュー
ぴったりズーム ×1.00

押すたびに

オート → 4:3 標準 → ヨーロピアンビスタ → 16:9 標準 → アメリカンビスタ → シネマスコープ1 → シネマスコープ2 → オート

ズーム倍率を微調整する（任意ズーム）

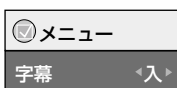
画面表示中に[◀▶] を押す。

1.00倍～1.60倍：0.01倍刻み
1.60倍～2.00倍：0.02倍刻み

字幕

DVD-V (字幕が複数記録されているディスク) VCD (SVCDのみ)

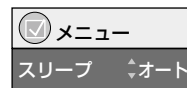
[字幕] を押して切り換える

- 字幕の入/切は [◀▶] を押す

RAM （字幕の入／切情報を含むディスクの入／切のみ）
当社製DVDレコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。（当社製 DVD レコーダーでファイナライズした当社製DVD-Rも字幕の入／切情報は記録されません。）

[字幕] を押して、入/切する

指定時間に電源を切る（スリープ）

[スリープ] を押す

押すたびに
オート※→ 60分→ 90分→ 120分 → 切 → オート

※再生終了（DVDのメニュー画面表示も含む）5分後に電源が切れます。
- ディスクによっては働かないものもあります。
- ボタン操作で停止やメニュー画面を表示したときは働きません。

残り時間を確かめるには

[スリープ]を1回押す

メニュー画面を使って再生

プログラムナビ　プレイリスト
トップメニュー　メニュー

WMA・MP3・JPEGの再生 WMA MP3 JPEG

RAM内のJPEGファイルやHighMAT規格で記録されたディスクをHighMAT機能を使わずに再生できます。停止中に“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください。(☞15ページ)

項目を順番に再生する（再生コンテンツメニュー）※RAM内のJPEGには使えません

メニュー画面表示中

[▲▼] で“オール”、“音声”または“静止画”を選び [決定] を押す

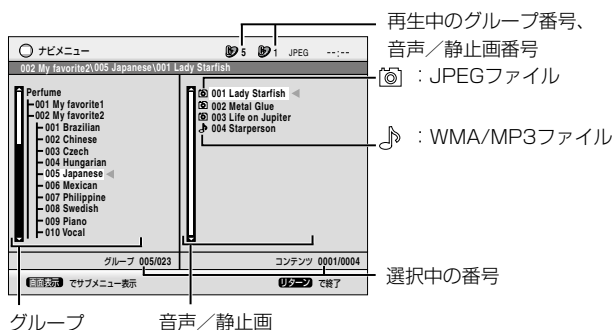
オール：全ての項目
音声：音声のみ
静止画：静止画のみ

再生コンテンツメニュー
オール　総数 436
音声　総数 9
静止画　総数 427
▲▼ で選択し、決定 を押して下さい

● 画面の入/切は、[**トップメニュー**]を押す。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

1 [メニュー] を押す
2 [▲▼◀▶]でグループを選び、[決定] を押す
3 ●グループ内の音声/静止画を順番に再生するには
[決定] を押す
●音声/静止画を選んで再生するには
[▲▼◀▶]で音声/静止画を選び、[決定] を押す

● 次のページを見るには [**アングル／ページ**] を押す
● **JPEG画像を見ながら、WMA/MP3を楽しむには、**JPEGファイルを選択した後、WMA/MP3ファイルを選ぶ。(逆の順序では、できません。)
● 画面の入/切は、[**メニュー**]を押す。

■サブメニューを使う

1 [メニュー] を押す
2 [画面表示] を押す
3 [▲▼] で項目を選び [決定] を押す

■タイトルを検索して再生

● ひらがな・カタカナ・英数字をローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。(大／小文字は区別されません)
● グループ名を検索するときはナビメニュー画面内のカーソルを“グループ”側に、音声／静止画のファイル名を検索するときは“音声／静止画”側に置いてください。

1 [メニュー] を押す
2 [画面表示] を押す
3 [▲▼]で“検索”を選び [決定] を押す
4 [▲▼] で文字を選び [決定] を押す

＊ A　検索

● [◀◀▶▶] で「A、E、I、O、U」にスキップします。
● 確定した文字を変更するには [◀] を押して、文字を選び直す。
● 続けて入力するには手順4を繰り返す。
● 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、[◀] で“＊”を消してから手順4を行う。

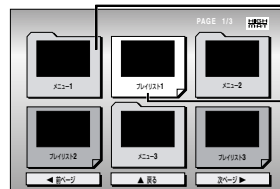
5 [▶]で“検索”を選び、[決定] を押す
検索結果が画面に表示されます。
6 [▲▼] でグループか音声/静止画ファイルを選び、[決定] を押す

CDテキストの再生 CD (CDテキストのみ)

メニュー

1 [メニュー] を押す
2 [▲▼]で曲を選び、[決定] を押す
● 次のページを見るには [アングル/ページ] を押す。

HighMAT CDの再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面表示中
[▲▼◀▶] で内容を選び、[決定] を押す

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表します。
プレイリスト：
再生が始まります。

● メニュー画面に戻るには、[トップメニュー]を押してから[リターン]を数回押す。
● ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に[画面表示]を押す。

プレイリスト画面から選んで再生する

1 再生中に[メニュー]を押す
2 [◀]→[▲▼]でリストを切り換える
3 [▶]→[▲▼]で選び、[決定] を押す
● 次のページを見るには [アングル/ページ] を押す

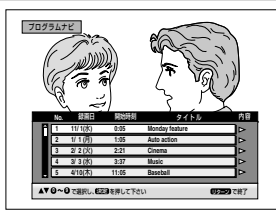
● 画面を消すには、[メニュー]を押す。

RAMディスクの再生 RAM

プログラムナビ プレイリスト

※本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

番組を選んで再生（プログラムナビ再生）

1 [プログラムナビ] を押す
2 [▲▼] で番組を選び、[決定] を押す
●次のページを見るには [アングル/ページ] を押す。
●リモコンの数字ボタンでも選べます（☞8ページ、番号入力）。

● [▶] を押すとプログラム内容を確認できます。

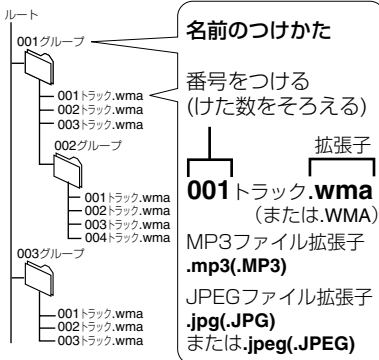
お好みのシーンを再生（プレイリスト再生）

※プレイリストが作成されたディスクのみ

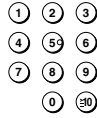
1 [プレイリスト] を押す
2 [▲▼] でプレイリストを選び、[決定] を押す
●次のページを見るには [アングル/ページ] を押す。
●リモコンの数字ボタンでも選べます（☞8ページ、番号入力）。

パソコン等でファイルを作るときは

CD-R、CD-RWに記録した WMA MP3 JPEG

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

本機での制限

使用できるフォーマット: ISO9660 level 1及びlevel 2（拡張フォーマットを除く）
● マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります。
● 8階層以降にあるグループは、メニュー画面の8階層目と同じ列に表示されます。
● 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は“_”（アンダーバー）で表示されます。
● メニュー画面とパソコンの画面では表示順が違うことがあります。
● ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
● パケットライト方式で記録されたファイルは再生できません。

WMA
● 著作権保護されたファイルは再生できません。

MP3
● ID3タグには対応していません。
● 再生可能なサンプリング周波数：
8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz

JPEG
● DCF (Design rule for Camera File system) 規格ver.1.0準拠のデジタルカメラで撮影したJPEGデータを表示します。
ーデジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCFの規格外となり、画像が表示されないことがあります。
ーパソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
● MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画（TIFFなど）および音声付画像は再生できません。

GUI画面

1

画面表示

押す
（2回押すと、プログレスインジケーターが表示されます。）（☞15ページ）

2

選ぶ / 次の項目へ / 前の項目へ / 決定

メニューを選ぶ

3

選ぶ / 決定

内容を選ぶ

4

リターン 戻る

設定を終了する

表示される項目はディスクにより異なります。

メニュー

プログラム グループ タイトル チャプター トラック プレイリスト コンテンツ	項目を指定して再生
時間	**時間を指定して飛びこす（再生専用タイムワープ）** **1. [決定]を2回押して、タイムワープインジケーターを表示させる。** **2. [▲▼]を押して時間を選び、[決定]を押す。** •[▲▼]を押したままにすると早くなります。 **時間指定再生（タイムサーチ）** 例）1時間46分50秒から再生 [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] **経過時間／残り時間表示切り換え**

音声	（☞11ページ） ビットレート／サンプリング周波数（☞19ページ）表示
静止画	静止画切り換え
サムネイル	サムネイル画面表示
字幕	（☞11ページ）
マーカー（VR）	DVDビデオレコーダーで付けたマークを呼び出す。
アングル 画像回転	（☞10ページ）
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を 0−30秒に変更できます。

その他の設定

再生スピード	（☞10ページ、早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生）
AV エンハンサー	（☞9ページ）

■ 再生メニュー

経過時間表示の出るディスクのみ。（☞8ページ、本体表示）
（ただし、JPEGのリピートとマーカーはできます。）

リピート	（☞9ページ、リピート再生）
A-Bリピート	**お好みの2点間を繰り返し再生（A-B リピート再生）** 始点／終点で **[決定]** を押す。取り消すには、さらに **[決定]** を押す。 ● **RAM**（静止画部分）には働きません。
マーカー （**RAM** には働きません。）	**お好みの位置を記憶（5個まで）** **[決定]** を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → **[決定]** を押す。 **他にマークを付けるには** → [◀▶]で“＊”を選び、**[決定]** を押す。 **マークを呼び出すには** → [◀▶]でマークを選び、**[決定]** を押す。 **マークを取り消すには** → [◀▶]でマークを選び、**[取消し]** を押す。 ● 本機で付けたマーカーは、電源「切」、トレイの開閉で取り消されます。 ● プログラム、ランダム再生中は働きません。

■ 画質メニュー

ピクチャーモード	（☞9ページ）
ビデオ出力モード	525I（インターレース）⟷525P（プログレッシブ）
変換モード	上記“525P”を選んだときのみ **プログレッシブ映像の出力を選ぶ** **オート1**（標準）：24コマ／秒のフィルム素材を自動判別 **オート2**：オート1に加えて30コマ/秒のフィルム素材にも対応（ディスクの記録状態によってはブレが生じることがあります） **ビデオ**：オート1またはオート2でブレが生じるとき

その他の設定

■ 音声メニュー

アドバンスド サラウンド	(☞9ページ)
シネマボイス	映画のセリフを聞き取りやすくする DVD-V (ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク) 入 ←→ 切
アッテネータ	音声がひずむ場合「入」を選ぶ (“音声出力”端子接続時)(☞6、7ページ) 入 ←→ 切

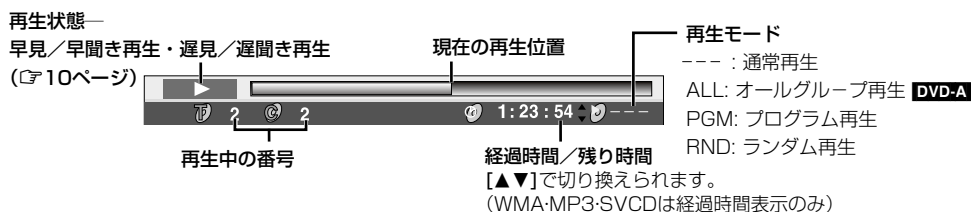
■ 表示メニュー

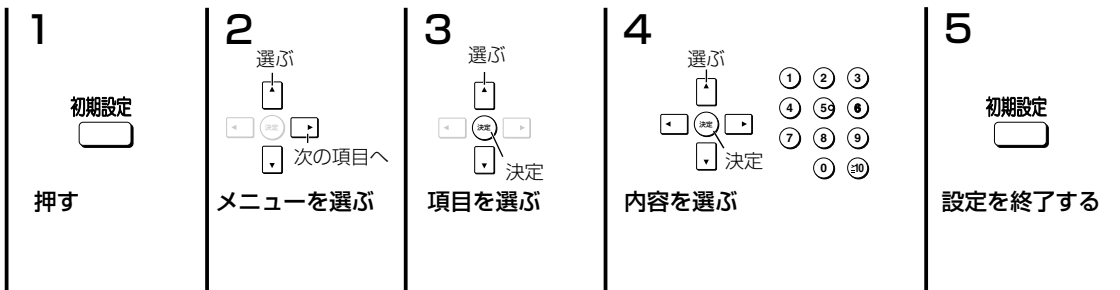
情報表示	入 ←→ 切 JPEG 日付／詳細／切
字幕位置	字幕位置を調整できます
字幕の明るさ	オート(明るさを自動調節します)、0〜−7
4:3 アスペクト	16：9テレビへの4：3映像の表示のしかたを選ぶ。 ノーマル： テレビの画面幅に合わせて拡大 オート： 通常は“シュリンク”に、レターボックスの映像は“ズーム”に、自動的に切り換え シュリンク：テレビ画面中央に4：3の画面比で映す ズーム： 4：3の画面比で拡大
ぴったりズーム	(☞11ページ)
任意ズーム	(☞11ページ)
GUIシースルー	GUIメニューの背景を半透明にします。 入 ←→ 切
GUI明るさ	−3〜+3

■ その他のメニュー

スリープ	(☞11ページ)
DVD-Video として再生 あるいは DVD-Audio として再生	● DVDオーディオの中のDVDビデオコンテンツを再生するには、停止中に“DVD-Videoとして再生”を選ぶ
DVD-VR として再生 HighMAT として再生 あるいは データディスク として再生	● RAM内のJPEGファイルの再生や、HighMATディスクをHighMAT機能を使わずに再生するには、停止中に“データディスクとして再生”を選ぶ

■ 再生状況を確認(プログレスインジケーター)

経過時間表示の出るディスクのみ(☞8ページ、本体表示)

初期設定

- 16～17ページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語 のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

“ディスク”メニュー

項目	内容
音声言語	**●日本語**　**●英語**　**●オリジナル**（ディスクの最優先言語）　**●その他＊＊＊＊**※
字幕言語	**●オート**（“音声言語”で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） **●日本語**　**●英語**　**●その他＊＊＊＊**※
メニュー言語	**●日本語**　**●英語**　**●その他＊＊＊＊**※
視聴制限 DVDビデオの視聴が制限できます。	**●レベル8**：　すべて再生可 **●レベル1～7**：　記録のレベルに応じて再生不可 **●レベル0**：　すべて再生不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。 画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** 視聴制限を超えるDVDビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※リモコンの数字ボタンで言語番号（☞17ページ）を入力します。

“映像”メニュー

項目	内容
TVアスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	**●4：3パン&スキャン**：標準テレビ 16：9の映像は左右の切れた映像で表示 （パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。） **●4：3レターボックス**：標準テレビ 16：9の映像は上下に帯のある映像で表示 **●16：9**：ワイドテレビ 必要に応じてテレビ側の画面モードの設定を変えてください。
プログレッシブ出力	**●不可**：プログレッシブ非対応テレビ **●可能**：プログレッシブ対応テレビ
接続するTV テレビの種類に合わせて設定します。	**●標準(ブラウン管テレビ)** **●3管式プロジェクター**　**●液晶テレビ／プロジェクター** **●プロジェクションテレビ**　**●プラズマテレビ**
TVディレイ AVアンプとプラズマテレビを接続している場合、映像が音声より遅く感じるときに、タイミングを合わせることができます。	●0ms　●20ms　●40ms　●60ms　●80ms　●100ms
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	**●オート** **●フィールド**：画像のブレが発生するとき **●フレーム**：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

“音声”メニュー

項目	内容
PCMデジタル出力 （デジタル音声出力端子接続時のみ、☞7ページ） 接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選びます。	●**最高48kHz**： 48 kHzまたは44.1 kHzまで対応 ●**最高96kHz**： 96 kHzまたは88.2 kHzまで対応 ディスクが著作権保護されているときは、48 kHzまたは44.1 kHzに変換します。 96 kHzに対応している接続機器でも、88.2 kHzに対応していないことがあります。（詳細は接続機器の説明書をご参照ください。）
Dolby Digital （デジタル音声出力端子接続時のみ、☞7ページ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM： 右記ロゴのない機器と接続するとき DOLBY DIGITAL
DTS Digital Surround （デジタル音声出力端子接続時のみ、☞7ページ）	●PCM： 右記ロゴのない機器と接続するとき ●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき DIGITAL dts SURROUND
音声のダイナミックレンジ圧縮（ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●切 ●入
早送り時の音声 早送りするとき、音声のあり/なしが選べます。	●入 ●切

“画面表示”メニュー

項目	内容
画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	●日本語 ●English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	●入 ●切

“その他”のメニュー

項目	内容
表示窓ディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	●明 ●暗 ●**オート**：再生中は暗くなり、サーチや一時停止中などは一時的に明るくなる
オートパワーオフ 節電のため、操作しないときに自動的に電源を切る設定をします。	●**入**：スリープの設定に関係なく、停止状態で30分経過すると電源が切れます。 ●**切**
HighMAT再生 HighMAT規格で記録したディスクの再生方法を選びます。	●**入**：HighMATディスクとして再生 ●**切**：WMA/MP3/JPEGディスクとして再生
クイックセットアップ 本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行います。	●**する**：以下の設定を行います。 画面メニュー言語／接続するTV／TVアスペクト/プログレッシブ出力 • クイックセットアップで“画面メニュー言語”を変えると、“メニュー言語”（☞16ページ）も変わります。 ●**しない**
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	●**する**：視聴制限（☞16ページ）を設定しているときは、暗証番号を入力してください。 本体表示窓の“INI”表示が消えてから、電源を入れ直してください。 ●**しない**

言語番号一覧表

アイスランド：7383
アイマラ：6588
アイルランド：7165
アゼルバイジャン：6590
アッサム：6583
アファル：6565
アフリカーンス：6570
アブハジア：6566
アムハラ：6577
アラビア：6582
アルバニア：8381
アルメニア：7289
イタリア：7384
イディッシュ：7473
インターリングア：7365
インドネシア：7378
ウェールズ：6789
ウォロフ：8779
ヴォラピュック：8679
ウクライナ：8575
ウズベク：8590
ウルドゥー：8582
英語：6978
エストニア：6984
エスペラント：6979
オーリヤ：7982
オランダ：7876
カザフ：7575
カシミール：7583
カタロニア：6765
ガリチア：7176
韓国（朝鮮）語：7579
カンナダ：7578
カンボジア：7577
キルギス：7589
ギリシャ：6976
クルド：7585
クロアチア：7282
グアラニー：7178
グジャラト：7185
グリーンランド：7576
グルジア：7565
ケチュア：8185
ゲール（スコットランド）：7168
コーサ：8872
コルシカ：6779
サモア：8377
サンスクリット：8365
ショナ：8378
シンド：8368
シンハラ：8373
ジャワ：7487
スウェーデン：8386
スロバキア：8375
スロベニア：8376
スワヒリ：8387
スンダ：8385
スペイン：6983
ズールー：9085
セルビア：8382
セルボクロアチア：8372
ソマリ：8379
タイ：8472
タタール：8484
タミル：8465
タガログ：8476
タジク：8471
チェコ：6783
中国語：9072
チベット：6679
ティグリニア：8473
テルグ：8469
デンマーク：6865
トウイ：8487
トルクメン：8475
トルコ：8482
トンガ：8479
ドイツ：6869
ナウル：7865
日本語：7465
ネパール：7869
ノルウェー：7879
ハウサ：7265
ハンガリー：7285
バシキール：6665
バスク：6985
パシュト：8083
パンジャブ：8065
ヒンディー：7273
ビハール：6672
ビルマ：7789
フィジー：7074
フィンランド：7073
フェロー：7079
フランス：7082
フリジア：7089
ブータン：6890
ブルガリア：6671
ブルターニュ：6682
ヘブライ：7387
ベトナム：8673
ベロルシア（白ロシア）：6669
ベンガル（バングラ）：6678
ペルシャ：7065
ポーランド：8076
ポルトガル：8084
マオリ：7773
マケドニア：7775
マライ（マレー）：7783
マラッタ：7782
マラヤーラム：7776
マルタ：7784
マダガスカル：7771
モルダビア：7779
モンゴル：7778
ヨルバ：8979
ラオ：7679
ラテン：7665
ラトビア（レット）：7686
リトアニア：7684
リンガラ：7678
ルーマニア：8279
レトロマンス：8277
ロシア：8285

別売品のご紹介

2004年2月現在のものです。品番は変更されることがあります。

コード/ケーブル（品番にはすべてRP-がつきます。）

名　称	品　番（RP-）						
S映像コード	CVS0G10 (1.0 m)	CVS0G20 (2.0 m)	CVS0G30 (3.0 m)	CVS0G50 (5.0 m)	–	–	–
コンポーネントビデオコード	CVPCG10 (1.0 m)	CVPCG20 (2.0 m)	CVPCG50 (5.0 m)	–	–	–	–
D端子ケーブル	CVDG15A (1.5 m)	CVDG30A (3.0 m)	CVDG50A (5.0 m)	–	–	–	–
D端子ピンケーブル	CVCDG15 (1.5 m)	CVCDG30 (3.0 m)	–	–	–	–	–
音声コード	CAP3G05 (0.5 m)	CAP3G10 (1.0 m)	CAP3G15 (1.5 m)	CAP3G20 (2.0 m)	CAP3G30 (3.0 m)	CAP3G50 (5.0 m)	CAP3G100 (10.0 m)
光デジタルケーブル	CA2005A (0.5 m)	CA2010A (1.0 m)	CA2020A (2.0 m)	CA2030A (3.0 m)	–	–	–

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置について	マルチチャンネル音声を楽しむには、どのような機器が必要か	●右記ロゴのあるAVアンプ（マルチチャンネル音声出力端子付き）と接続します。 ただし、本機ではDVDオーディオ再生が2チャンネルのため、DVDオーディオはマルチチャンネル音声では楽しめません。	7
	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	●D2、D3、D4のいずれかの入力端子のある当社製テレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	–
	S映像端子、コンポーネントビデオ端子、D映像端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらいいのか	●D映像端子またはコンポーネント映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像端子に接続する場合より、さらに忠実に色を再現します。	7
	別の地域でも使えるか	●本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	–
使いかたについて	海外で買ったDVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか	●映像方式がNTSCであれば再生できます。 ●DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	– 表紙
	映像方式がPALのディスクは再生できるか	●DVDオーディオは再生できます。(映像を縮少して全体を表示しますが、上下に引き伸ばされた画面になることがあります。)	–
	リージョン番号がないDVDビデオディスクは再生できるか	●リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	–
	CD-Gは再生できるか	●再生できません。	–
	ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。	–
録音について	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか	●デジタル信号（PCM）で録音できます。DVDの音声を録音する場合、「デジタル出力」を以下のように設定してください。 "PCMデジタル出力"："最高48 kHz"、"Dolby Digital"："PCM"、 "DTS Digital Surround"："PCM" "アドバンスドサラウンド"："切" (ただしディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。 ●WMA、MP3は録音できません。	 17 17 9 –

用語解説

コンポーネント映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像（D端子出力映像と同等）を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる（Y/P_B/P_R、Y/B-Y/R-Y、Y/C_B/C_Rなど）場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

デコーダー

DVDなどに圧縮して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ビットレート

1秒間に記録・伝送するビット（情報量の最小単位）の総数のこと。
デジタル信号を送るスピード、量を決めるもの。数値が大きいほど音質や画質がよくなる。

フィルム素材／ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ／秒または30コマ／秒で記録されているもの。（映画撮影のフィルムは、24コマ／秒で記録されています。）
- **ビデオ素材**
  映像情報が60フィールド／秒で記録されているもの。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　　　フィールド　　　フィールド
 ＝ ＋

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プログレッシブ/インターレース

従来の映像信号（NTSC）は525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーにより、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

D1/D2映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS（Digital Theater Systems）（デジタル シアター システムズ）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

LPCM（リニアPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

MP3（MPEG Audio Layer 3）（エムペグ オーディオ レイヤー）

元の音質をあまり損なうことなく情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでCD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

P.PCM（パックトPCM）

ひずみなく圧縮しデジタルに置き換えられた音声信号です。

S映像出力

映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

WMA（Windows Media™ Audio）（ウィンドウズ メディア オーディオ）

米国 Microsoft Corporation で開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	6
	勝手に電源が切れる	●オートパワーオフを「入」にしていると、節電のため、停止状態で30分経過すると電源が自動的に切れます。 ●スリープ機能が設定されています。	17 11
操作	各ボタン操作ができない	●ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。 ●落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。	― ―
	リモコンが働かない	●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●リモコン受光部に向けて正しく操作してください。 ●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）がありませんか。 ●受光部に、日光などの強い光が直接当たっていませんか。	6 6 ― ―
	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない （または、すぐに停止する）	●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。 ●本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクを正しく入れてください。 ●記録済みのディスクが入っているか確認してください。 ●初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。 ●静止画データの入ったMP3ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。	― 表紙、4 5 8 ― 16 ―
	プログラム／ランダム再生ができない	●プログラム／ランダム再生できないDVDビデオもあります。	―
	VCD スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	●ビデオCDでは正常な動作です。	―
	ABリピートの終点（B点）が自動的に決定される	●始点（A点）のみを設定すると、タイトル／トラックの終わりがB点となります。	―
	ABリピートが自動的に解除される	●[クイックリプレイ] を押すと解除されます。	―
	アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	―
	音声／字幕言語が切り換えられない	●複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 ●本機の［音声］［字幕］ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	―
	字幕が出ない	●字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。 ●字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。 ●A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	― 11 ―
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻したい	以下の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻してください。 1　停止中、本体の[❚❚]と[⏮／◀◀]を押しながら、テレビ画面の“オールクリア”が消えるまで、本体の [⏏、 OPEN/CLOSE]を押す 2　本体の電源を「切」「入」する	―
音声	音声が出ない （または音がおかしい）	●接続した機器の音量を確認してください。 ●接続、設定を確認してください。 ●接続した機器の入力切り換えは正しいですか？ ●アドバンスドサラウンドを“切”にしてください。 ●“音声出力”端子接続時は、“音声メニュー”で“アッテネータ”を“入”にしてください。 ●早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は2チャンネル出力になり、アドバンスドサラウンドは働きません。 ●再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。 ●本機ではDVDオーディオは2チャンネルで再生されます。 ●WMAの再生中に雑音が生じることがあります。	― 6、7、16、17 ― 9 15 10 10 ― ―

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声	音声が出ない （または音がおかしい）	●“デジタル音声出力”端子接続時は、アドバンスドサラウンドとシネマボイスはBitstream信号には働きません。 ●ディスクによっては効果が働かなかったり、出にくいものがあります。 ●他の機器と“デジタル音声出力”端子で接続しているときは、“PCMデジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。 ●ディスク側で音声の出力方法を制限されていませんか。 3チャンネル以上のディスクは、本機ではフロントの2チャンネルのみが再生される場合があります。ディスクのジャケットなどを確認してください。 DVD-A	17 — 17 —
映像	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	●多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	●接続を確認してください。 ●テレビの電源は入っていますか？ ●テレビの入力切換は正しいですか？ ●“TVアスペクト”は正しく設定されていますか？ ●テレビ側の画面モードを変更してください。 ●ズーム機能で調節してください。 ●“表示メニュー”の“4:3アスペクト”で表示サイズを調整してください。ただし、PAL方式のDVDオーディオでは働きません。 ●プログレッシブに対応していないテレビに接続していませんか。 ●ハイビジョン方式の端子に接続していませんか。音声が乱れたり、映らないことがあります。	6、7 — — 16 — 11 15 — —
	プログレッシブ出力（525P）時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。 “画質メニュー”の“ビデオ出力モード”を“525I”（インターレース出力）にしてください。	— 14
	字幕の位置がおかしい	●“表示メニュー”の“字幕位置”の調節をしてください。	15
	メニュー画面が正しく表示されない	●ズーム倍率を“×1.00”にしてください。 ●“表示メニュー”の“字幕位置”を“0”にしてください。 ●“表示メニュー”の“4：3 アスペクト”を“ノーマル”にしてください。	11 15 15
	オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	●テレビ側のズーム機能を解除してください。 ●“オート”以外の倍率にするか、[◀▶]を押して微調整してください。 ●映像全体が暗かったり、ディスクの種類によっては、働かないことがあります。	— 11 —
画面表示	“⃠”	●ディスクまたは本機で禁止されている操作です。	—
	“GXX CXX の画像ファイルは表示できません”	●本機で表示できない画像ファイルです。	13
	“ディスクを確認してください”	●ディスクが汚れています。	5
	“プログレッシブ出力が不可になっています”	●プログレッシブ出力をするには、プログレッシブ対応テレビと接続し、“映像”メニューの“プログレッシブ出力”を“可能”にしてください。	16
	画面メッセージが出ない	●“画面表示”メニューの“画面メッセージ”を“入”にしてください。	17
表示窓	“noPLAy”	●再生できないディスクが入っています。 ●“ディスク”メニューの“視聴制限”を設定したディスクが入っています。 ●番組が記録されていないディスクが入っています。	4 16 —
	“U11”	●ディスクが汚れています。	5
	“U15”	●ファイナライズしていないDVD-Rを入れています。当社製品にて録画・ファイナライズした当社製DVD-Rを使用してください。	—
	“H□□” （□□は数字）	●異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。	—
	“nodISC”	●ディスクが入っていません。 ●ディスクが正しく入っていません。	— —

■処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞23ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。

主な仕様

（この仕様は、性能向上のため変更することがあります。）

許容周囲温度　+5〜35 ℃

許容相対湿度　5〜90 % RH（結露なきこと）

再生可能ディスク（8 cm、12 cm）

- DVD-RAM（DVD-VR規格対応、JPEGフォーマットのディスク）
- DVD-Audio
- DVD-Video
- DVD-R（DVD-Video規格準拠）
- 音楽用CD（CD-DA）
- ビデオCD
- スーパービデオCD（IEC62107準拠）
- CD-R/RW（CD-DA、ビデオCD、スーパービデオCD、MP3、WMA、JPEG、HighMAT レベル 2フォーマットのディスク）
- MP3/WMA※
  ビットレート：
  MP3：　32 kbps〜320 kbps
  WMA：　48 kbps〜320 kbps
- JPEG※
  ーExif Ver2.1 JPEGベースライン方式準拠
  ー画像解像度：　320×240〜6144×4096
  （サブサンプリング：4:2:2、4:2:0）
- HighMAT レベル 2（音声、画像）

信号形式：　NTSC

映像出力

出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　ピンジャック
端子数：　1系統

S映像出力

Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
C出力レベル：　0.286 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　S端子
端子数：　1系統

コンポーネント映像出力（525P/525I）

Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
P_B/C_B出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
P_R/C_R出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　ピンジャック
（Y: 緑、P_B/C_B: 青、P_R/C_R: 赤）
端子数：　1系統

D1/D2映像出力

Y出力レベル：　1 Vp-p（75 Ω）
P_B/C_B出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
P_R/C_R出力レベル：　0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子：　D端子
端子数：　1系統

音声出力

出力レベル：　2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力端子：　ピンジャック
端子数：
- 2ch出力　1系統

音声出力特性

周波数特性

- DVD(リニア音声)：
  4 Hz〜22 kHz（48 kHzサンプリング）
  4 Hz〜44 kHz（96 kHzサンプリング）
- DVD-Audio：　4 Hz〜88 kHz（192 kHzサンプリング）
- CD：　4 Hz〜20 kHz（JEITA）

S／N比

- CD：　115 dB（JEITA）

ダイナミックレンジ

- DVD（リニア音声）：　100 dB
- CD：　98 dB（JEITA）

全高調波歪率

- CD：　0.0025 %（JEITA）

デジタル音声出力

- 光デジタル出力：　光コネクター
- 同軸デジタル出力：　ピンジャック

電源　AC 100 V　50／60 Hz

消費電力　7 W

電源「スタンバイ」時 約1 W

外形寸法　430（幅）×227（奥行）×55（高さ）mm
（突起物を含む）

質量　約1.9 kg

※MP3/WMA/JPEGを合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ（トラック数と画像数）数：4000
再生可能な最大グループ数：400

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVD／CDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

20～21ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD／CDプレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DVD-S37	故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

- 札幌　札幌市厚別区厚別南2丁目17-7　☎(011)894-1251
- 旭川　旭川市2条通21丁目左1号　☎(0166)31-6151
- 帯広　帯広市西19条南1丁目7-11　☎(0155)33-8477
- 函館　函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）　☎(0138)48-6631

東北地区

- 青森　青森市第二問屋町3-7-10　☎(017)739-9712
- 秋田　秋田市御所野湯本2丁目1-2　☎(018)826-1600
- 岩手　盛岡市羽場13地割30-3　☎(019)639-5120
- 宮城　仙台市宮城野区扇町7-4-18　☎(022)387-1117
- 山形　山形市流通センター3丁目12-2　☎(023)641-8100
- 福島　福島県安達郡本宮町字南ノ内65　☎(0243)34-1301

首都圏地区

- 栃木　宇都宮市御幸町194-20　☎(028)689-2555
- 群馬　高崎市大沢町229-1　☎(027)352-1109
- 茨城　つくば市花畑2丁目8-1　☎(029)864-8756
- 埼玉　桶川市赤堀2丁目4-2　☎(048)728-8960
- 千葉　千葉市中央区星久喜町172　☎(043)208-6034
- 東京　東京都世田谷区宮坂2丁目26-17　☎(03)5477-9780
- 山梨　甲府市宝1丁目4-13　☎(055)222-5171
- 神奈川　横浜市港南区日野5丁目3-16　☎(045)847-9720
- 新潟　新潟市東明1丁目8-14　☎(025)286-0171

中部地区

- 石川　石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80　☎(076)294-2683
- 富山　富山市寺島1298　☎(076)432-8705
- 福井　福井市開発4丁目112　☎(0776)54-5606
- 長野　松本市大字笹賀7600-7　☎(0263)86-9209
- 静岡　静岡市西島765　☎(054)287-9000
- 名古屋　名古屋市瑞穂区塩入町8-10　☎(052)819-0225
- 岡崎　岡崎市岡町南久保28　☎(0564)55-5719
- 岐阜　岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30　☎(058)323-6010
- 高山　高山市花岡町3丁目82　☎(0577)33-0613
- 三重　久居市森町字北谷1920-3　☎(059)255-1380

近畿地区

- 滋賀　守山市勝部6丁目2-1　☎(077)582-5021
- 京都　京都市伏見区竹田中川原町71-4　☎(075)672-9636
- 大阪　大阪市北区本庄西1丁目1-7　☎(06)6359-6225
- 奈良　大和郡山市筒井町800番地　☎(0743)59-2770
- 和歌山　和歌山市中島499-1　☎(073)475-2984
- 兵庫　神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6　☎(078)272-6645

中国地区

- 鳥取　鳥取市安長295-1　☎(0857)26-9695
- 米子　米子市米原4丁目2-33　☎(0859)34-2129
- 松江　松江市平成町182番地14　☎(0852)23-1128
- 出雲　出雲市渡橋町416　☎(0853)21-3133
- 浜田　浜田市下府町327-93　☎(0855)22-6629
- 岡山　岡山県都窪郡早島町矢尾807　☎(086)292-1162
- 広島　広島市西区南観音8丁目13-20　☎(082)295-5011
- 山口　山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23　☎(083)986-4050

四国地区

- 香川　高松市勅使町152-2　☎(087)868-9477
- 徳島　徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108　☎(088)698-1125
- 高知　南国市岡豊町中島331-1　☎(088)866-3142
- 愛媛　松山市土居田町750-2　☎(089)971-2144

九州地区

- 福岡　春日市春日公園3丁目48　☎(092)593-9036
- 佐賀　佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044　☎(0952)26-9151
- 長崎　長崎市東町1949-1　☎(095)830-1658
- 大分　大分市萩原4丁目8-35　☎(097)556-3815
- 宮崎　宮崎市本郷北方字草葉2099-2　☎(0985)63-1213
- 熊本　熊本市健軍本町12-3　☎(096)367-6067
- 天草　本渡市港町18-11　☎(0969)22-3125
- 鹿児島　鹿児島市与次郎1丁目5-33　☎(099)250-5657
- 大島　名瀬市長浜町10-1　☎(0997)53-5101

沖縄地区

- 沖縄　浦添市城間4丁目23-11　☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0104

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

主な機能（8ページもご覧ください。）

- 映像と音声に最適な効果を加える（9ページ）
- サラウンド効果を楽しむ（9ページ）
- 画質を設定（9ページ）
- トップメニューを表示（8ページ）
  プログラムナビ再生（13ページ）
- GUI表示（14ページ）
- 字幕の切り換え（11ページ）
- 音声の切り換え（11ページ）
- オールグループ／プログラム／ランダム再生（9ページ）
- 指定時間に電源を切る（11ページ）
- 本体表示の切り換え（8ページ）
- リピート再生（9ページ）
- 早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生（10ページ）
- 記憶させた位置から再生（10ページ）
- 見のがしたシーンをすぐ再生（10ページ）
- ディスクメニューを表示（8ページ）
  プレイリスト再生（13ページ）
- アングルの切り換え／画像の回転／静止画の切り換え（10ページ）
- グループを選んで再生（10ページ）
- 映像の拡大（11ページ）

電源　AVエンハンサー　表示窓切換　開/閉　アドバンスドサラウンド　ピクチャーモード　リピート　1　2　3　再生スピード　4　5　6　ポジションメモリー　7　8　9　取消し　クイックリプレイ　0　≧10　スキップ　スロー/サーチ　停止　一時停止　再生　プログラムナビ　プレイリスト　トップメニュー　メニュー　決定　画面表示　リターン　戻る　字幕　音声　アングル/ページ　初期設定　再生モード　スリープ　ズーム　グループ

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検	長年ご使用のDVD/CDプレーヤーの点検を！
	こんな症状はありませんか ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある ▶ **このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-S37
販売店名	☎（　　）　－		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571－8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT7239-S
F0204TH0